

子どもと授業をつくる

～「主体的・対話的で深い学び」の授業をつくろう～



岐生研/春の一日学習会 '20年5月16日(土) 広見地区センター(旧ゆとりピア)

難しいことをやさしく
やさしいことを深く
深いことを面白く

面白いことをまじめに
まじめなことを愉快地

そしてゆかいなことはあくまでゆかいに
井上ひさし

教師の投げかけによって、子どもの中に疑問が沸き上がり、それについて探求し(調べ・討論し)新たな認識(知)を獲得していく。そんな授業が求められているのではないのでしょうか。しかし、実際は、この1時間をどう組み立てていくかで四苦八苦しているのが現場の姿。

今回、岐阜県で教師をして40年。中学校で社会科を子どもとともに作り上げようと日々困難に立ち向かっている稲垣先生に社会科の模擬授業を行っていただきます。

参加者が生徒役です。模擬授業を体験し、子どもとともに授業をつくりだしていくという授業はどんなものなのかを論議していきます。

可児市広見7-77 電話: 0574-62-2101

プログラム

- 11:00~12:00 岐生研総会
- 13:00~13:20 受付
- 13:20~13:30 開会式(マジックタイム)
- 13:30~15:00 稲垣先生社会科模擬授業
→ 論議「子どもと授業をつくるには」
- 15:10~17:30 レポート分析
- 17:30~17:35 感想タイム
- 17:35~17:45 閉会式

講師 稲垣勝義先生 岐生研代表 肥田中学校教諭

上記の井上ひさしの言葉のような授業ができたらと思いつながりながら過ごす教師としての日々…。

学校の研究は、①単元の構成をどうするか(つけたい力を見据えて)②子どもの交流をどうするか(アクティブラーニング)③授業の評価(つけたい力は獲得できたか)をどうするかという形のところがほとんどではないでしょうか。

あれ?これって、つけたい力が学習指導要領によって決められており(目標管理)、いかに見栄えよく効率的に子どもが動けるようにするか?ということではないのでしょうか。これが、私たちの求める授業なのではないでしょうか?

参加費 ☆1000円 ☆岐生研会員 500円 ☆学生無料

主催 岐阜県生活指導研究協議会

連絡先 佐藤真 090-1747-0322

岐生研